



真宗大谷派 存明寺通信

NO.176

2017年（仏歴2548年）1月1日発行

お寺につどう人々

→ 青年のつどい「真夏の夜の集合写真」



→ 「子ども食堂」秋のウクレレコンサート



→ 報恩講「講師の調先生を囲んで」



無量寿

「あなたを見捨てない」と誓う仏さまの呼びかけを聞きながら、わが身とわが世を、ていねいに生きていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



ぞんみょうじ 存明寺HP、随時更新中 しんらん であ 親鸞と出会うお寺

<http://www.zonmyoji.jp>

↓「ほうおんこう報恩講」準備の後のお茶の時間



## たくさんのご先祖

昨年秋、お寺の墓地の中にある酒井家のお墓を改修することとなり、ご先祖さまの遺骨を一時的に取り出しました。この地に移って90年、そこには十数人のご先祖様がおられました。

驚いたことは、十数人もご先祖様がおられるのに、私が直接会ったことがあるのはたった二人だけだということです。父親である先代の住職とおばあちゃんです。祖父や曾祖父は写真でしか知りません。2歳の子どもや2歳の女性の遺骨もありました。その方々は存在すら知らなかった方々でした。たくさんのご先祖がおられるのに、そのことを知らないという自分に驚きました。

## 苦悩の歴史

20歳の女性の両親は曾祖父夫妻です。2歳の子どもの両親は祖父夫妻でした。その頃、曾祖父や祖父たちは若かったはずで、大切な子供を亡くしたのですから、おそらくそこには深い悲しみがあつたことでしょう。流した涙があ

つたのかもしれない。

今となっては直接聞くことはできませんが、そこには人間の抱く苦悩の歴史があつたのだと強く感じました。

## 救いの歴史

しかし、同時に感じたことは、苦悩あるがゆえに、もがきながら、

## 住職のコラム

### 苦悩の歴史と救いの歴史

酒井 義一

苦しみながらも、ひたすら生きる意味を求めた人々の歴史があつたということです。

その時代その時代に人々は、それぞれに喜びや楽しみを抱き、同じように苦しみや悲しみを味わってきたのでしよう。

しかし、そのような苦悩の歴史があつたからこそ、人は仏さまの教えや仏さまのあたたかな世界を仰ぎ、願い求め、出会ってきたの

ではないでしょうか。

## 人から人へ教えは伝わる

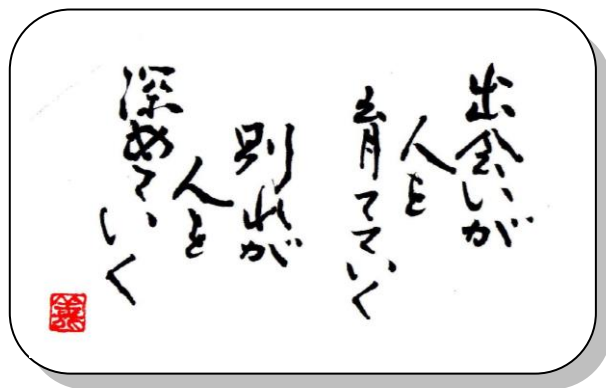
仏教が伝わって2500年、親鸞聖人からは750年。長い時を超えて、なぜ教えは今日まで伝わってきたのでしょうか。経典や書籍などの本になつているからでしょうか。もちろんそれも大切なことですが、それだけではありません。

うなずいた人がいたからです。この教えは確かな教えだと受け止めた人がいたからです。その時、人々は感激したことでしょう。嬉しかったことでしょう。そして、この教えを次の世代の人に伝えたのでしよう。人から人へ教えは伝わるものです。

750年の間、途絶えることなく全国各地で親鸞さまの報恩講が敬いをこめて行われてきました。

その背景には無数の人々の苦悩の歴史があつたということを思い出します。そして、同時に救いの歴史があつたということを忘れないでいたいと思います。

今度は私がその歴史に参加する時です。



お寺の掲示板（1月の言葉）

■親鸞につどう報恩講  
しんらん ほうおんこう

11月2日・3日、浄土真宗の宗祖・親鸞聖人を偲ぶ「報恩講」が行われました。講師に調和晃磨先生（久留米教区榮久寺住職・福岡県）にお越しいただき、二日間にわたってお話をさせていただきました。

教えとなつて今も生きてはたらく親鸞聖人に出会うことが報恩講法要の大きな願いです。一年で最も大切な法要です。毎年11月2日と3日に行われます。ぜひご参詣ください。

お寺の写真館



報恩講。講師の調和晃磨先生(久留米教区)。11月



報恩講。本堂で行なわれた法話の様子。11月



月に一回の「子育てサロンいちごのへや」。12月



悲しみに光を…。「グリーフケアのつどい」。12月

調和晃磨先生語録

\*仏さまは人間の苦しみ悩みを救うのではない。苦しみ悩む人間そのものを救うのである。  
\*私は今まで問題は常に私の外にあると思ってきた。あいつが悪い、あれさえなければ、で生きてきたけれど、問題は常にわが内に在りなのです。  
\*あなたがこの世に生まれ、生きていくのは、阿弥陀さまの本願に遇うためですよ。  
(文責：住職)

■子育てサロンいちごのへや

元保育士だった坊守が中心となつて行っている子育て支援のサロン。その名は「いちごのへや」。毎月一回、毎回十組以上の親子たちが集まっています。下は0歳児から上は5歳児まで。  
子ども同士の触れ合い、母親同士の交流、スタッフと母親との交流が広がりつつあります。  
スタッフ紹介  
雅子さん・恭子さん  
浩美坊守・義一住職

■グリーフケアのつどい

大切な方を亡くした人へ……。同じ体験をした人々のつどいです。つどいが始まって9年。今までに38回を実施し、延べ参加者は550名です。  
この動き、今後も継続します。  
【今後の予定】2017年  
3月25日(土) 2時～5時  
6月24日(土) 2時～5時  
9月30日(土) 2時～5時  
12月16日(土) 2時～5時  
会費：500円 会場：存明寺

1月1日 (日)	10時	修正会 <small>しゆしょうえ</small>
3月11日 (土)	2時	樹心の会
3月20日 (月)	11時・13時	春のお彼岸法要 <small>ひがん</small>
3月25日 (土)	2時	グリーンフケアのつどい
4月8日 (土)	2時	樹心の会
4月28日 (金)	10時	おみがきのつどい <small>えいたいきょう</small>
5月3日 (水)	12時	永代経法要
5月13日 (土)	2時	樹心の会
6月10日 (土)	2時	樹心の会
6月24日 (土)	2時	グリーンフケアのつどい
7月8日 (土)	11時	新盆合同法要 <small>にいぼん</small>
7月13日 (木)	11時と13時	おぼん法要
8月26日 (土)	2時	青年のつどい
9月9日 (土)	2時	樹心の会
9月23日 (土)	11時と13時	秋のお彼岸法要
9月30日 (土)	2時	グリーンフケアのつどい
10月7日 (土)	2時	樹心の会
10月28日 (土)	10時	おみがきのつどい
11月2日 2時・3日 12時	2時	報恩講法要 <small>ほうおんこう</small>
11月11日 (土)	2時	樹心の会
12月2日 (土)	11時	仏弟子入門「帰敬式」 <small>ききようしき</small>
12月9日 (土)	2時	樹心の会
12月16日 (土)	2時	グリーンフケアのつどい

◎ぞんみようじこども会 月一回  
 ◎ぞんみようじこども食堂 月一回  
 ◎子育てサロン「いちごのへや」 月一回



↑歌手の大島花子さん、存明寺に来る！



春のお彼岸法要

**3月20日(月・春分の日)**

11時と13時 (2回)

内容 正信偈の唱和 しょうしんげ

お話 酒井義一住職とご門徒有志

春の法要 永代経法要 えいたいきょう

**大島花子さんをお迎えして**

日時 **5月3日(水・祭日)** 正午

場所 存明寺

日程 12時 お昼ごはん(精進料理) しょうじん

13時 永代経法話・法要

14時 大島花子さん

コンサート

東京都世田谷区北島山4-15-1  
 真宗大谷派 存明寺  
 住職 酒井義一  
 〒157-0061 TEL 03-3300-5057  
 FAX 03-3300-5880  
 E-mail : sakai@zomyoji.jp

【あしがき】

▼新しい年がやってきました。今年もどうぞよろしくお願いいいたします。

▼誰もが同じ思いを抱くようですが、歳を重ねるごとに、時が経つのがだんだんと早くなる気がします。娑婆世界に慣れてきたからなのでしょう。

▼人は慣れてくると、本来手でやるべきことを、足ですると言われています。粗雑になるといってしまおう。そんな時だからこそ、大事にしたい言葉があります。それは「ていねいに」という言葉。

▼この一年、たとえどのようなことが起ころうと、それが私の大切な一年として受け止め、「ていねいに」今を生きていきたいものです。どうぞご自愛ください。

(住職・釋諦信)